

1 事業報告（平成29年度 平成29年4月1日～平成30年3月31日）

1. 人材の養成に関する育英事業(公益目的事業1)

- (1) 平成29年度の新規貸費生は16名（貸費月額は、4万円が10名、2万5千円が6名、継続して大学院に進学した2名を含む）、継続者を含めた貸費生の人数は59名、貸費金の合計は金26,760,000円でした。また、受入返金額は、金39,091,000円で期末の貸費学資金の残高は、金186,845,000円（前年度末日比12,331,000円減）となりました。
- (2) 故・風間若葉氏の遺贈を受け新設した給付型の若葉奨学基金は、2名の給付生に年間計480,000円を給付しました。また平成30年度の給付生2名を内定いたしました。

2. 文化財の維持・管理および公開事業(公益目的事業2)

- (1) 平成29年度の「丙申堂」と「無量光苑釈迦堂」の入場者数は、両堂合計で17,500名（うち丙申堂9,636名、釈迦堂7,864名、前年比3,882名減）となりました。「鶴瓶の家族に乾杯」で取り上げられ、入館者が大幅に増加した平成25年度から毎年減少が続き、特にこの2年の減少は、4,000人前後と大きく減少しています。高速バスの安全性強化によって結果として首都圏からの団体バスが減少していることや団体から少人数のグループ、少グループから個人（ひとり旅）へといった旅行のスタイルの変化が減少の要因になっていると思われます。
- (2) 5月9日(火)～22日(月)の期間「キルト&陶芸 ふるさとに紡ぐ 二人展」を無量光苑釈迦堂を会場に開催しました。鶴岡の小中学校で同級だった甚田治美さん(キルト)と吉田優子さん(陶芸)の作品展で、如松同窓会や鶴翔同窓会に後援いただき、同窓の方たちが数多く鑑賞されました。
14日(日)には佐藤裕里さんのフルート演奏会も開催し、部屋に入りきれずに庭園でお聴きになった方も多かったです。
- (3) 9月9日(土)に「荘内のこころの平安を願う 文化講演会」を主催しました。荘銀本店ホールを会場に、14時から17時の3時間、講師に下田正弘氏、ひろさちや氏を迎え講演会を行いました。克念社では折りに触れ、仏教に関連した講演会を開いてきました。それは、風間家が代々仏教への篤い信仰心をもっていたことに由来しますが、前回は3年前に丙申堂で「身近な仏教・大講演会」を開催しました。今回はこの講師陣ならば大きな会場で開催したいと、新築したばかりの荘内銀行本店のホールをご提供いただいて実施することになりました。結果、400名近くのご来場者があり、内容的にも楽しい講演会となりました。費用は約150万円。

- (4) 無量光苑釈迦堂の修繕工事を平成 29 年 11 月から翌 30 年 2 月にかけて行いました。経年劣化で痛みが激しい釈迦堂主屋の土縁屋根や北門、西側板塀、中門欄間の修繕、一部は復元工事を行い、歴史的建造物の保存や公開部分の景観の改善に繋がりました。工事費用は合計 250 万円強でしたが、釈迦堂は鶴岡市が指定の歴史的風致形成建造物でしたので、その保存活用整備事業補助金を 170 万円弱交付されました。

3. 山林を活用した地球環境保全事業(公益目的事業3)

- (1) 藤沢の山林で開催している森林体験学習会について

春：6月18日(日)、子ども11名、大人5名、合計16名が参加。
スタッフは森林インストラクター2名、東北芸術工科大学の学生が1名など総勢10名。今回は初夏の森林探検。テーマを「水のめぐみ」とし、湧き水を葉っぱで作ったコップで飲んだり、山菜のミズを生でかじったり、葉で作った船を沢に流して競争したりしました。

秋：10月14日(土)、子ども7名、大人7名の計14名。スタッフ9名。曇り空の一日。岩屋洞窟までの森林探検。おにぎりとなめこ汁の昼食。間伐体験。切り倒した杉の木の輪切りをお土産に、皆さん楽しそうにお帰りになりました。

- (2) 山林の整備事業については、今年度も下刈、枝打、つる切、除伐、植付等に努めました。

4. 土地、建物の貸与事業(収益事業)

- (1) 基本財産の土地、建物を(株)庄交コーポレーション外に、また特定資産の駐車場を一般利用者に賃貸しました。運用財産の土地、建物(銀座通り、旧金屋リビング)は、昨年度まで鶴岡市の包括支援センターに貸しておりましたが、今年度より(株)NHK文化センターに賃貸しております。懸案事項であった駐車場の問題も隣地駐車場を購入することで、ピーク時以外の対応についてはほぼ解決されました。駐車場購入の仲介手数料、不動産取得税などの税金、周辺整備等の費用が200万円強。今年度の賃貸売上は38,070,931円となりました。
- (2) 日本仏教史研究講座、特に聖徳太子講座開設等の運用資金として、公益財団法人中村元東方研究会東方学院へ、昨年同様40万円の寄付をしました。
- また、日本仏教研究の為、東京大学文学部印度哲学仏教学研究室に対し例年同様50万円の寄付をしました。